

SSKS

2024. 3月号

No. 560

せんかわだより

～あるがままに あたりまえに～



せんかわアート展2024を開催しました



2015年に始まった『せんかわアート展』は、今回で8回目を迎えました。

生活介護事業所で創作活動としてとりくんでいるアート活動では、さまざまな素材を用いて表現する楽しさや活動に参加する喜びにつながるように職員は利用者とかかわっています。作品をつくる利用者にとって、作ったものはアートではないかもしれませんが、その作品を観る人にとって、何かしら心を揺さぶられる感情が加わり、その作品とそれを観た人の間ではじめて作品は“アート”になるのではないのでしょうか。



社会福祉法人 武蔵野千川福祉会

<http://www.musashino-senkawa.com>



自分らしく、日々の生活を充実させるために

～アート活動を通じた千川作業所のとりくみ～

毎年恒例となりましたせんかわアート展を今年も開催しました。昨年に続き、武蔵野プレイスギャラリーとホームページ上の両方で開催し、ギャラリーにお越しいただけない場合でも、ホームページから作品をご覧いただけるようにしました。ホームページは、約200名の方が訪問してくださり、ギャラリー展示は、2日間の合計で約240名の方が来場されました。

アート展では、各事業所のアート活動で制作した作品を展示・発表しており、生活介護事業所の千川作業所、ななほしワークス、ワークイン中町からは、80作以上の作品をホームページに、ギャラリーにはそのうちの約60作品を展示しました。

生活介護事業所では、生産活動だけでなく、アート活動などの創作的活動にも力を入れています。利用者が自分らしく自己の力を発揮し、日々の生活を充実して過ごす一助になるためにも、今後も、作品の制作や、発表の場を作ることを継続していきます。

多くの応募作品を提供していただきました

昨年の12月に募集した応募作品は、前回の開催時よりも多い22名の方に出品していただき、ギャラリーには、25作品を、ホームページ上には提供いただいた全ての作品を展示することができました。毎年、個性的な作品や自分の好きな題材で制作した作品などの力作をご提供いただいております。「毎年出品を楽しみに作品を制作している」といった声も届いています。

アート展にご来場いただけた方にはアンケートへの回答をお願いしていますが、「すべての作品がよかった」「毎年楽しみにしている」「初めて来たが、あたたかな気持ちになった」など利用者の作品を見て「元気になった、前向きな気持ちになった」という感想を多くいただくことができました。地域の方からとても良い評価を得られたことを、利用者みなさんにもお伝えしたいです。本当にありがとうございました。

千川作業所のアート活動

千川作業所では、火曜日に講師の上杉昭子氏の指導のもとでアート活動を行っています。利用者のAさんは、色鉛筆を使って画用紙に自由に色を塗ることにとりくんでいます。Aさんは、自分で飲みたいジュースを選ぶなど自身での意思決定は少し難しい傾向があり、使用する色鉛筆の色を決める際も、ケースの端にある色鉛筆を手にとることが多くありました。職員が2本色鉛筆を差し出し、色を選ぶように伝え、どちらかを選ぶことができるようになりました。何度かくり返しているう



【選ぶこと、表現することの喜びを大切にします】

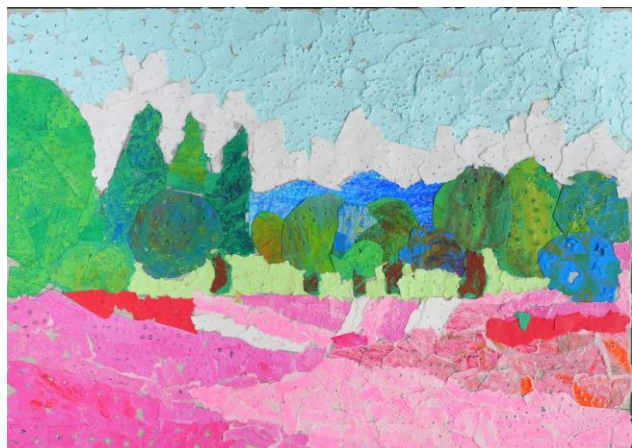


【彩龍】

ちに、職員が差し出した色鉛筆ではなく、自ら他の鉛筆をケースから選ぶようになってきました。Aさんは、職員が驚くような色をいくつか組み合わせて画用紙に色を塗っていきませんが、完成したのを見ると、その組み合わせはとてもきれいで素晴らしい色彩感覚を持っていることがわかりました。

Aさんが着彩した画用紙は、職員と一緒に別の紙に貼り付けて、『彩龍』という一つの絵を完成させました。Aさんが根気よく塗った色の組み合わせは、見ているだけで人を楽しませるものだと思います。利用者の皆さんのできることの幅を広げたり、新たに一緒に見つけたりするなど、表現することの喜びを感じていただけたら嬉しく思います。

挑戦する楽しみを感じることができるように



【芝桜の丘】

昨年度、第14回きょうされんグッズデザインコンクールにて、Bさんの作品が入賞されました。それに引き続き、今年度の第15回きょうされんグッズデザインコンクールにて、同じくBさんが応募した『芝桜の丘』が入選しました。2年連続の快挙です。

入選した作品は、上杉講師の提案した楊枝やボールペンの芯で穴を開けた画用紙を使った貼り絵でした。穴あけしたさまざまな色の画用紙を手でちぎり、1枚の絵を完成させたものです。Bさんは、写真を参考にしながら、ちぎった画用紙を組み合わせることで丘の絵を完成させていました。2年連続の入選

は、Bさんの創作的センスあってのことだと思います。アート活動を通して自分の力を発揮できたことは、Bさんにとっても私たちにとっても、とても喜ばしい良い経験になりました。

誰かに選ばれることだけが全てではありません。ただ、良い評価をいただけたことは喜び、アート活動を継続し、新しい作品づくりなど、いろいろなことに挑戦する楽しみを利用者が感じることができるようにしていきたいと考えています。

（文責：石橋 聡美）



【Bさんと見守る上杉講師】

令和5年度 きょうされん冬季販売 集計結果

☆衣料・日用品

<売り上げ> 449,430 円
<売上個数> 336 個

☆食品

<売り上げ> 726,340 円
<売上個数> 559 個

☆スワンクリスマスケーキ

<売り上げ> 140,330 円
<売上個数> 35

武蔵野東高等専修学校
武蔵野東学園 事務局
武蔵野東第一幼稚園
武蔵野東第二幼稚園
武蔵野東小学校
武蔵野東中学校
武蔵野東教育センター
テンミリオンハウス月見路
筑波大学附属視覚特別支援学校
松村 雅司 様
その他、個人の皆様

お買い上げいただき
ありがとうございました



【とびっくす】～インスタ日より vol.9～ #音楽療法

千川作業所では隔週で音楽療法の活動をしています。
音楽療法の会武蔵野(MMT)さんからセラピストをお招きし、数人の
小グループに分かれて歌ったり、踊ったり、演奏したりしています。
普段はあまり見せない表情や行動が垣間見られるひとときです。

これはさすがにやってはもらえないだろうな～



とを感じる演奏やダンスでも、
すんなりやってみせてくれたりします。音楽って素晴らしい！



【千川作業所 音楽療法のようす】

今月の動向 ～令和6年2月～

- 6日(火) 地域生活支援部学習会
- 8日(木) 常任理事会
- 14日(水) B型事業所学習会
- 19日(月) 階層別研修
- 20日(火) 新任職員研修
- 21日(水) 児童発達支援学習会
放課後デイ学習会
生活介護事業所学習会

来月の予定 ～令和6年3月～

- 1日(金) 常任理事会
- 12日(火) 地域生活支援部学習会
- 14日(木) 常任理事会
- 26日(火) 理事会
- 30日(土) 年度末職員全体研修



社会福祉法人 武蔵野千川福祉会

<http://www.musashino-senkawa.com>

<発行人> 特定非営利活動法人 障害者団体定期刊行物協会 東京都世田谷区祖師谷3-1-17-102 TEL 03(6277)9611

<編集人> 社会福祉法人 武蔵野千川福祉会 東京都武蔵野市境南町4-20-5 TEL 0422(30)0022 定価 50 円